

---

# 令和 6 年度のヒアリ対策の実施状況及び 令和 7 年度のヒアリ対策（案）の概要

---

## ヒアリの侵入状況

- 平成29年の国内初確認以降、これまで**毎年10～25事例程度**が確認され、令和元年からは**5年連続で大規模な集団**が確認されている。
- また、有識者からは、海外のヒアリ定着国においては、ヒアリ初確認から、**概ね6～10年後に定着が確認された事例が多い**ことが指摘されている。
- 以上のことから、引き続き最大限の警戒が必要な状況であり、水際対策を徹底し、**政府一丸となってヒアリの国内定着を防ぐ**必要がある。

○平成29年6月の国内初確認以降、18都道府県で**135事例**が報告（R7.4時点）

**【5年連続で大規模な集団を確認】**

- 令和元年10月 **東京港青海ふ頭**のコンテナヤード内  
（多数の女王アリ）
- 令和2年9月 **名古屋港飛島ふ頭**の民間事業敷地内  
（多数の女王アリ）
- 令和3年9月 **大阪港**の民間事業者敷地内  
（複数の女王アリ、働きアリ3,000匹以上）
- 令和4年10月 **福山港**に陸揚げされたコンテナ内  
（複数の女王アリ、働きアリ70,000匹以上）
- 令和5年11月 **博多港**  
（多数の女王アリ、働きアリ4,000匹程度）



## 令和6年度のヒアリ対策の実施状況の概要

- 令和6年4月開催の関係省庁会議でとりまとめた「令和6年度のヒアリ対策」に基づき、関係省庁が連携した水際対策を実施。定着を阻止できている状況。

### ◆水際等における調査及び防除の徹底

- 全国**65港湾**と**15空港**において定期的な生息状況調査を実施。また、植物防疫所においても目視調査を実施。
- 調査の結果、**24事例**を確認し、適切に防除を実施。
- 過年度に大規模な集団が確認された地点（福山港、博多港）において周辺調査を実施。ヒアリは確認されていない。

### ◆関係機関・関係者との連携体制の強化 【R6年度強化事項①】

- 四日市港をモデルに令和5年度に取りまとめた「**四日市港ヒアリ類対策マニュアル**」を活用し、ヒアリ講習会等の様々な機会において、**ヒアリ類発見時の連絡体制の整備**や**とるべき拡散防止措置**などを関係事業者へ周知。

### ◆侵入元への対策 【R6年度強化事項②】

- 7月に**日中韓外来種専門家会合**を開催し、ヒアリをはじめとする侵略的外来種について、専門家及び行政担当者が、科学的な見地から**対策に関する議論や情報交換**を実施。議長サマリーを取りまとめ、**引き続き意見交換や協力を行うことを確認**。

## 令和7年度のヒアリ対策（案）の概要

- 引き続きヒアリの国内への侵入・定着を阻止するため、関係省庁で連携し、以下の取組を推進する。

### ◆水際等における調査及び防除の徹底

- 全国65港湾と20空港において定期的な生息状況調査を、また、植物防疫所においても目視調査を実施し、ヒアリが確認された場合は適切に防除を実施。
- 大規模な集団が確認された地点では周辺調査を実施。

### ◆関係機関・関係者との連携体制の強化

#### 【R7年度強化事項①】

- 令和6年度に国内の各地を経由したコンテナ内から多数のヒアリが確認される事例が発生したことを踏まえ、関係団体及び事業者に対する注意喚起を実施。

### ◆新規技術による対策の強化

#### 【R7年度強化事項②】

- シリコン樹脂充填による舗装補修技術、わさび成分入りシート、ワンプッシュ式エアゾール剤等の新規技術について、関係省庁や関係事業者の協力の下、実証事業を実施し、社会実装を推進する。